

みのお山なみ通信

MINOH YAMANAMI NEWS LETTER



発行：NPO法人みのお山麓保全委員会 平成28年(2016年)秋号

自然の恵みと自然災害、今、どのように向き合っていけばいいのでしょうか！

古くから、自然からたくさんの恵みを得る一方で、地殻構造や気象の作用により、地震や台風など多くの自然災害に見舞われてきた日本。身近にある箕面の豊かな自然。四季折々に美しい山なみ景観や箕面大滝などの溪谷美。

1,100種の植物と3,000種を超える昆虫などが生息する **生き物の宝庫**
広域から多くの行楽客が訪れるとともに山すそに住む私たちの **生活にやすらぎ**をもたらしてくれています。



錦秋の箕面溪谷



箕面川ダム 昭和57年(1982年)に治水ダムとして完成

これからも豊かな自然とともに暮らしていくために、今、どのように自然災害と向き合っていけばいいのでしょうか？

箕面市はたびたび水害に苦しめられて来た歴史があります。豊かな自然の恵みと自然災害の脅威。恵みと脅威は切っても切れない表裏の関係にあり、災害も自然の一部と受け止め、折り合いをつけ、いなしながら付き合っていく減災の知恵をつちかっていく地域力が求められているのではないのでしょうか？

住んでいる地域には過去に起きた災害の歴史のメッセージが隠されていることもあり、自然災害は長い時を越えて繰り返しその土地に発生することがあります。

生物多様性の保全「人と自然が共生するまちづくり」とは、箕面の自然やそこに暮らす生き物を知ることだけでなく自然の恵みと脅威、人と自然との関わり方など、地域への理解を深めることではないのでしょうか？

箕面の溪谷や河川などの地形、気象、植物や生き物、農地やため池、昔からの伝承、土地の成り立ちや歴史などを探ってみて、それらの情報を共有することが、箕面の地域力を高めていくことにつながるのかもしれません。

※ 11月3日(祝)の生物多様性研究フォーラムでは、「みのお山麓と土砂災害への備え」の話題提供をします。



箕面町警察長合田百一氏
殉職の碑(箕面公園内)昭和26年



西坊島の導心ヶ谷池の堤防に土のうを積んで、決壊を必死に
くいとめる自衛隊員※昭和42年「広報みのお」7月号から転載

箕面市はたびたび水害に苦しめられてきました。特に、昭和9年(1934年)の室戸台風、昭和10年(1935年)、昭和13年(1938年)の集中豪雨は、大きな被害をもたらしました。昭和26年(1951年)におきた水害では、箕面町警察署長だった合田百一さんは、滝近くでいる人を助けようとして、濁流に飲み込まれてなくなりました。昭和42年(1967年)の集中豪雨は、1日255mmという大雨がふり、幼児や消防団員を含めて4名がなくなる大きな被害が出ました。

ナラ枯れの進行防止

《未来へつなごう！箕面の豊かな森づくり》

ナラ枯れは、ナラ類、シイ・カシ類の樹木を枯らす病原菌と、その病原菌を媒介する昆虫による「**樹木の伝染病**」です。媒介昆虫は体長5mmくらいの甲虫、**カシノナガキクイムシ**（以下カシナガ）。カシナガのメスの背中には、ナラ菌を入れる器官があり、被害木から健全木に運びます。カシナガは、森林病虫害等防除法で**法定害虫**に指定されており、ナラ枯れは**大阪府などでは増加傾向**にあります。

被害を受けるナラ類、シイ・カシ類は身近な里山を代表する樹木ですが、被害が拡大すると「**山なみ景観**」が**大きく損なわれたり**、多様な動・植物が生息する森林生態系の質の低下、枯死木が道路や民家の近くにある場合は、**強風などで倒れたり枝が落ちるなどの被害が懸念**されています。

また、増えすぎた**シカ**による採食などで**天然更新が難しい**状況にあり、放置しておくと、場所によっては**森林の水源涵養や土砂災害の防止などの公益的な機能の低下が懸念**されます。

里山のコナラなどの樹木は、かつて燃料や肥料（落ち葉）として利用されていましたが、電気やガス、化学肥料の使用により、**経済的な価値が失われ、放置されたままの状態**になっています。大径木化したナラ類、シイ・カシ類の樹木は、**カシナガの絶好の生息地**となっています。

カシナガやナラ菌を根絶することは、いくら**お金や人手をかけても無理**です。そのためだけに手を入れることは、逆に森林生態系に悪い影響を与えてしまいます。



府道沿いで枯死した被害木



夏でも一部赤茶けた山なみ



ナラ枯れ防止Gのボランティアによる防虫ネットの巻き付け

身近な里山の課題に、どのように向き合っていくのか！

かつて、**人の手が入り豊かな生態系を形成していた里山**、今では手が入らず放置され、森林の持つ公益的な機能が失われていくなかで、箕面の身近な**自然（里山）が直面する課題**にどのように向き合っていけばいいのでしょうか？

ある程度のナラ枯れ被害は許容しつつ、倒木や落枝による人への被害が懸念される所（ハイキング道沿いなど）での被害の拡大をくい止める**予防**、出来る限り増えすぎたカシナガの数を減らす伐倒・くん蒸処理による**駆除**を行政と役割分担しながら行うほか**森の若返りのために、どのようなことが出来るのか**などを探っていきたいと考えています。

どんぐりの植樹

《未来へつなごう！箕面の豊かな森づくり》

ナラ枯れ被害で枯れてしまうのは、**老齢化したどんぐりのなる木**です。ナラ枯れ防止グループの調査では、枯れてしまったアベマキ、アラカシ、クヌギ、シイ、コナラの5種のうち、**コナラが8割以上**を占めています。

どんぐりを食べる動物は多く、ニホンザルやイノシシの他、リス、ネズミなどの哺乳類、カケスなどの鳥類も好んで食べているようです。

生き物たちにとって、栄養価の高いどんぐりは厳しい冬に備えるための**貴重な食べ物**です。ナラ枯れ被害にあって伐倒くん蒸処理をした**跡地**に

どんぐりの苗木を植える活動を始めたいと思っています。

どんぐりの里親になっていただける方を**募集**します。



コナラとクヌギ・アベマキのどんぐり



どんぐりのポット苗作り(イメージ)

10月30日(日)山とみどりのフェスティバル

※雨天中止

箕面公園瀧安寺前広場にお集まりください。

コナラのどんぐりと簡単なポットと土を用意します。お家で育てるためのポット苗を作ってください。ポット苗は、お家に持ち帰っていただけます。2～3年かけて**大きく育ったら、山に植樹**をする予定です。



副読本「わたしたちの箕面」

全国学力・学習状況調査 箕面の教育
の結果をお知らせします



「もみじだより」平成27年12月号

箕面市教育委員会発行の副読本「わたしたちの箕面」

「箕面市は、みどり豊かな、古い歴史のあるまちで、市民が生き生き活動し、魅力あるまちづくりを進めています。…(中略)…この本をもとに箕面市をもっと好きになる楽しい学習として、市のようすや歴史、自然、人びとの仕事や暮らし、観光、まちづくりのことなどをくわしく調べ、話し合い、箕面市の魅力をさらに見つけてください。」

この副読本は、小学3年生から6年生が、社会科や総合的な学習を中心に、箕面市の魅力を学べるようにと平成23年に発行されました。歴史やまちづくり、人びとの暮らしのほか、自然や生き物についても紹介されています。



一方、箕面の子どもたちは、全国と比べて、**理科の観察や実験が苦手**なことが分かりました。

市では、理科が好きになる体験と一緒にしてくださいと呼びかけています。**身近な自然や生活に学習した知識や考え方が結びつく**と、授業がおもしろく好きになっていきます。※「もみじだより」から引用



右は、箕面ボーイスカウト第1団の子どもたちが9月11日に、箕面の山をハイキングしたときの写真です。箕面ビジターセンターの自然解説員が、展示室の紹介をした後、箕面川ダムを一周する自然学習ハイキングのお手伝いをしました。

マツカゼソウの匂いを嗅いだり、シカの糞やオオセンチコガネなどを発見し観察しました。

途中で、子ども達が自分たちで調べた「箕面の自然」の発表を聞かせていただきました。

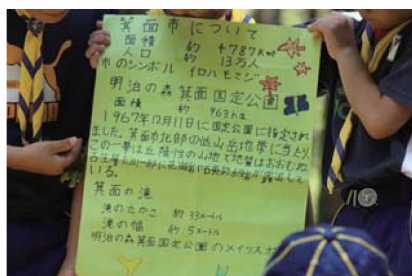
とても良く調べており、分担しながら立派に発表していたので、とても驚き、感動しました。



展示室を案内「だれのおしり」



マウカゼソウの匂いを嗅ぐ



みんなで「箕面の自然」を発表

☆箕面ビジターセンターは、小学校や団体の自然学習のお手伝いをします。詳しくは、NPO山麓委員会事務局にメールや電話でお問い合わせください。

スクールインタープリター養成講座

《未来へつなごう！箕面の豊かな森づくり》

スクールインタープリター 養成講座

子どもたちに伝えよう！
身近な自然のすばらしさや大切さを！

☆10月16日(日)
受講生募集中！



地域の自然観察会にも活かれます

誰でもでき、初めてでも安心！
楽しいボランティア活動で、地域のお役に立ってます。
子どもたちの自然学習のお手伝いをしませんか！



校庭にも自然がいっぱい



身近な自然観察シート

身近な自然体験を通じて、自然のすばらしさや大切さを伝え、子どもを生き生きと伸ばす環境教育インタープリターを養成する入門講座です。
自然の見方、プログラムの作り方、自然の大切さを伝える技術、子どもを伸ばす体験の仕方などが学べ、すぐに使えるメリットがあります。
※詳しくはチラシをご覧ください。

NPO山麓委員会では、10月30日の「山とみどりのフェスティバル」から、**3,000円募金の募集**を始めます。
「未来へつなごう！箕面の豊かな森づくり」のために、私たちは、次の3つの活動を行います。

■ナラ枯れの進行防止

どんぐりのなる木が枯れて危険木になることを予防するために、ナラ枯れ菌を運ぶカシノナガキクイムシから木を守るのに有効な防虫ネットを巻きつけます。

☆寄付金で、ハイキング道のナラ枯れを予防するための防虫ネットや資材を購入します。

■どんぐりのなる木を植樹

どんぐりを集めて、数年かけて苗を育てます。苗木にシカの食害防止用のネットを付けて、山に植樹します。

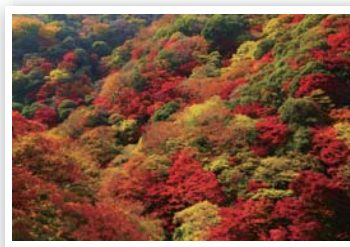
☆寄付金で、ポット苗を育てる資材や食害防止用ネットを購入します。

■自然学習を行うリーダーの養成

子どもたちが箕面の山で自然にふれあう機会を増やすため、自然学習のリーダーを養成するための研修会を開催します。

☆寄付金で、研修会開催のための教材費や講師謝礼をまかないます。

3,000円募金をしていただいた方に、「箕面の森の守りびと」の音楽をのせた「箕面の自然と生き物たち」のDVDを進呈します。募金にご協力をお願いします！



素敵な写真がいっぱいです。想いを伝えた日本語や英語のメッセージ版など三つのバージョンで構成されています。お楽しみに！

公益信託「みのお山麓保全ファンド」募金実績

期間：2016年1月～9月20日

▽「箕面の森の守りびと」会員	個人の募金	...	¥238,000
▽ 企業からの募金	阪急電鉄・阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト	...	¥162,062
▽ 市民団体からの募金	箕面の自然と遊ぶ会・マウンテンバイク友の会、他	...	¥63,273
▽ 募金支援 自動販売機	箕面ネイチャールーム・1-jyoスポーツ、他	...	¥75,496
▽ ゆずるの足湯募金	箕面滝道ふれあい広場(大阪観光)	...	¥69,814
▽ 募金箱・その他	募金箱・インターネット募金(GIVEONE)	...	¥35,998
▽ 箕面市の「ふるさと寄附金」による「箕面の森の守りびと」会員	個人の募金	...	¥260,000
★いただいた募金は、市民や山林所有者による山麓保全の活動に使われます。			計 ¥904,643

(編集後記)

箕面溪谷や箕面川ダム、DVDの紹介のページでは、高田博光さん、大江淑之さん、長尾賢次さんの写真を掲載させていただきました。また、昭和42年の水害写真では、箕面市総務課の皆さまのご協力をいただきました。その他、ナラ枯れ防止活動の写真など、多くの皆さまのご協力をいただきました。ありがとうございました。尚、記事についての不具合やご意見がありましたら、NPO山麓委員会事務局までご連絡をお願いします。

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615

メール: yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net (検索: 山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

